

第55回 中央区政世論調査 概要版

令和7年5月実施



【調査の項目】

- | | |
|------------|----------------------|
| 1 定住性 | 10 地域のコミュニティ活動 |
| 2 防災対策 | 11 おくやみコーナー |
| 3 健康診査 | 12 動物の飼養 |
| 4 健康アプリ事業 | 13 受動喫煙防止対策 |
| 5 高齢者施策 | 14 デジタル技術を活用した区民サービス |
| 6 子育て支援 | 15 広報 |
| 7 男女共同参画社会 | 16 環境 |
| 8 防犯対策 | 17 伝統と文化 |
| 9 スポーツ | 18 施策の要望・評価 |

【調査対象】 中央区に居住する満18歳以上の個人

【対象者】 2,000人

【抽出方法】 層化無作為抽出法

令和7年4月1日現在の住民基本台帳に登録された
満18歳以上の個人159,403人から抽出

【調査方法】 [配布]郵送配布

[回収]郵送回収またはインターネット回答

【調査時期】 令和7年5月7日(水)～6月4日(水)

【調査機関】 株式会社ケー・デー・シー

【回収結果】 回収数 912(郵送回収 572 インターネット回答 340) 回収率 45.6%



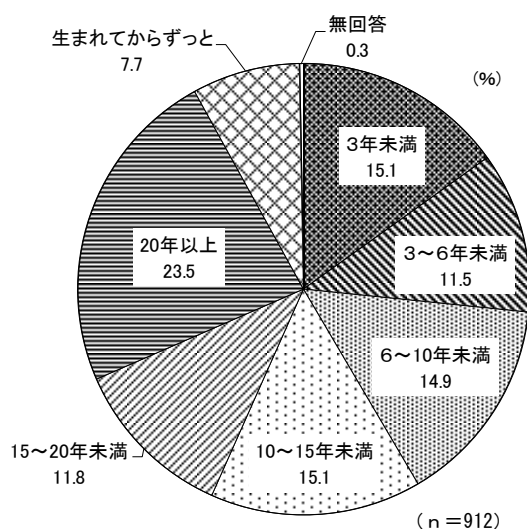
1 定住性

■ 居住年数

『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は26.6%で3割近くとなっている。

『中期居住者』（「6～10年未満」、「10～15年未満」および「15～20年未満」の3つの合計）は41.8%で4割を超え、『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は31.2%で3割を超えている。

昨年の調査結果と比較すると、『長期居住者』は1.3ポイント、『中期居住者』は1.0ポイント増加している。



■ 定住意向

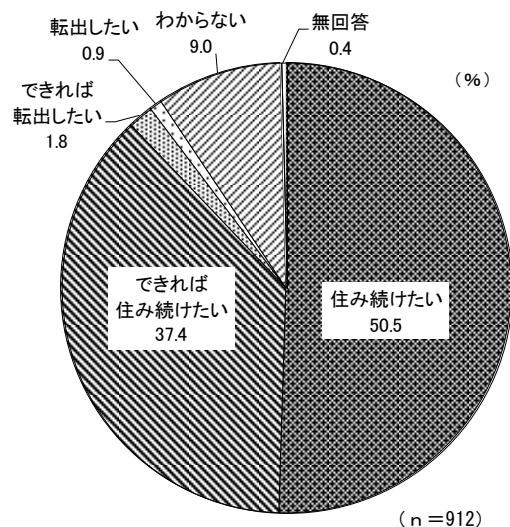
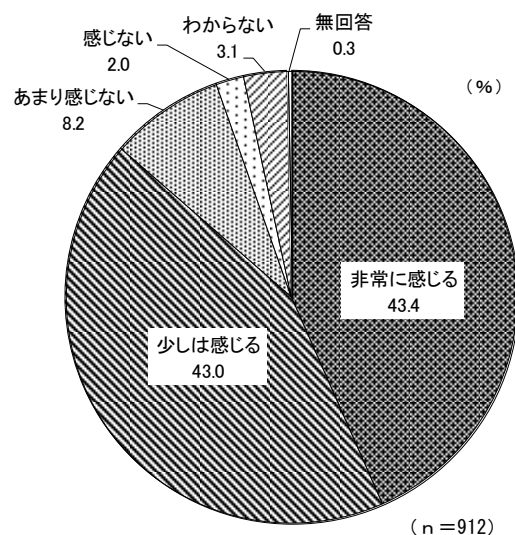
『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は87.9%で9割近くとなっている。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は2.7%にとどまっている。

過去の調査結果と比較すると、『定住意向』は平成12年以降8割台で推移している。

■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は86.4%で8割台半ばとなっている。一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は10.2%で1割となっている。

過去の調査結果と比較すると、『感じる』は平成18年以降8割台で推移している。

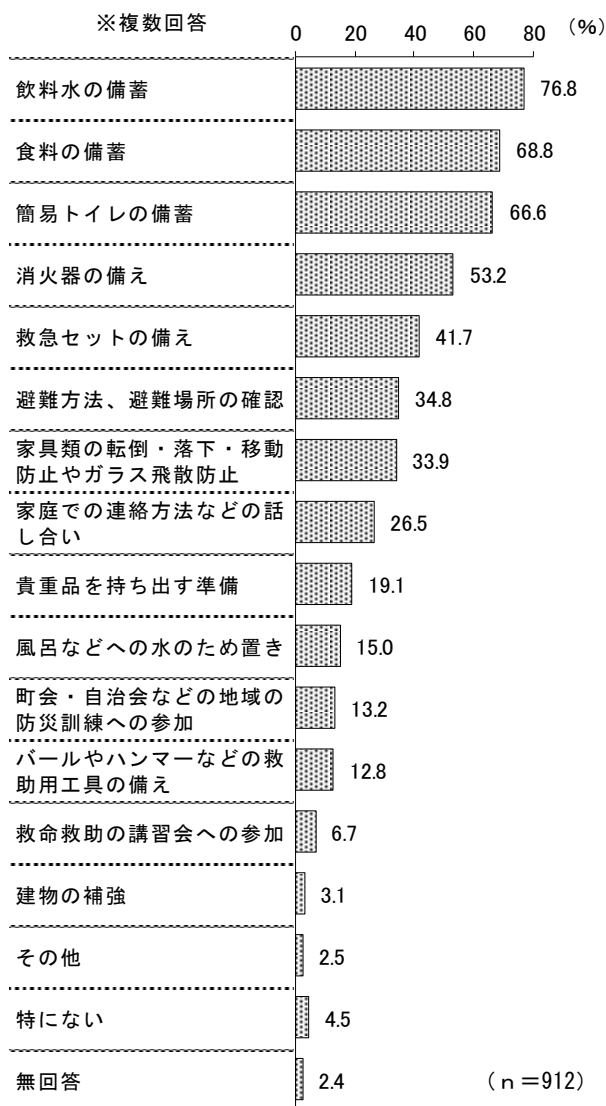


2 防災対策

■家庭での災害に対する備え

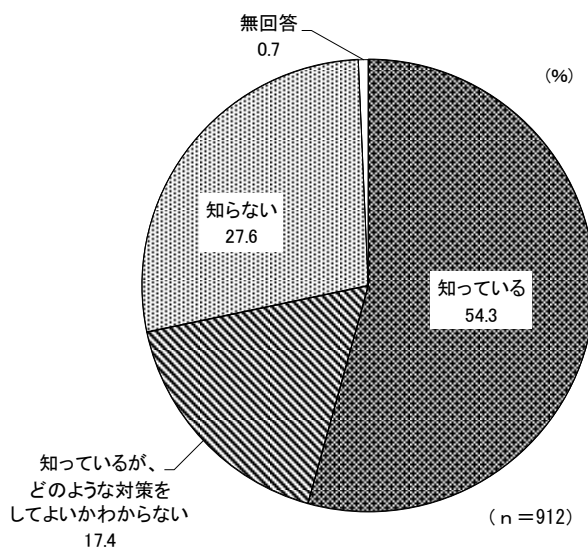
「飲料水の備蓄」(76.8%)が8割近くで最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(68.8%)、「簡易トイレの備蓄」(66.6%)、「消火器の備え」(53.2%)、「救急セットの備え」(41.7%)、「避難方法、避難場所の確認」(34.8%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「簡易トイレの備蓄」は18.7ポイント、「飲料水の備蓄」は9.0ポイント、「食料の備蓄」は8.6ポイント増加している。



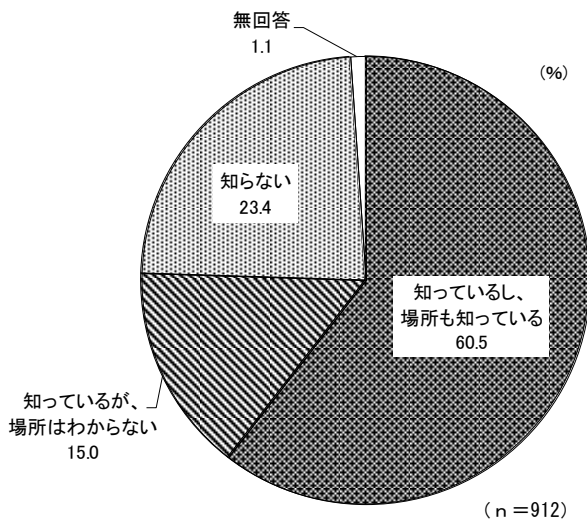
■在宅避難の認知度

「知っている」(54.3%)が5割台半ばで最も高くなっている。「知っているが、どのような対策をしてよいかわからない」(17.4%)は2割近く、「知らない」(27.6%)は3割近くとなっている。



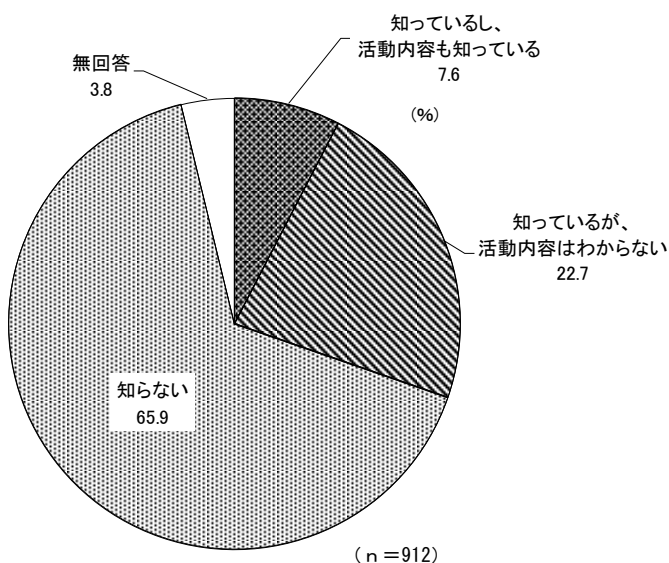
■防災拠点の認知度

「知っているし、場所も知っている」(60.5%)が約6割で最も高くなっている。「知っているが、場所はわからない」(15.0%)は1割台半ば、「知らない」(23.4%)は2割を超えている。



■防災拠点運営委員会の認知度

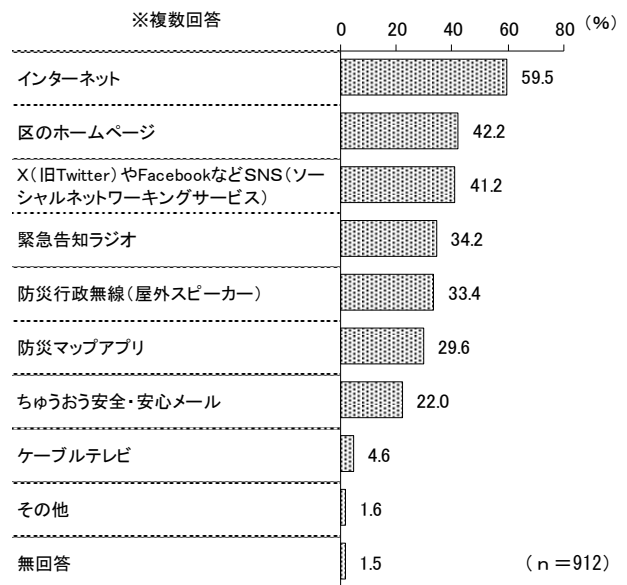
「知らない」(65.9%)が6割台半ばで最も高くなっている。「知っているし、活動内容も知っている」(7.6%)は1割未満、「知っているが、活動内容はわからない」(22.7%)は2割を超えている。



■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

「インターネット」(59.5%)が6割と最も高くなっている。次いで、「区のホームページ」(42.2%)、「X (旧 Twitter) や Facebook などSNS (ソーシャルネットワーキングサービス)」(41.2%)、「緊急告知ラジオ」(34.2%)、「防災行政無線 (屋外スピーカー)」(33.4%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「緊急告知ラジオ」は 8.1 ポイント、「インターネット」は 4.4 ポイント、「防災マップアプリ」は 4.0 ポイント、「ちゅうおう安全・安心メール」は 3.8 ポイント、「区のホームページ」は 3.7 ポイント、それぞれ増加している。

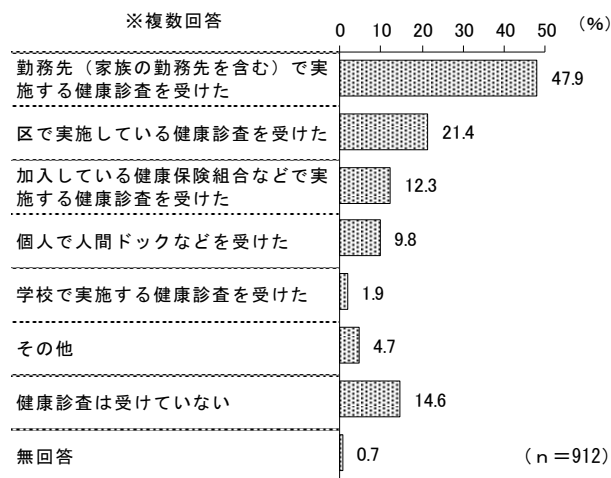


3 健康診査

■健康診査の受診状況

「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」（47.9%）が5割近くで最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」（21.4%）、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」（12.3%）、「個人で人間ドックなどを受けた」（9.8%）などとなっている。一方、「健康診査は受けていない」（14.6%）は1割台半ばとなっている。

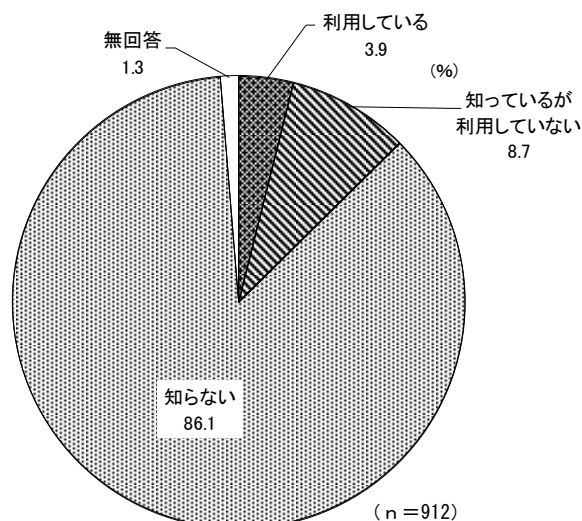
昨年の調査結果と比較すると、「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」は2.2ポイント増加している。



4 健康アプリ事業

■健康アプリの利用状況

「利用している」（3.9%）が1割未満となっている。また、「知っているが利用していない」（8.7%）、「知らない」（86.1%）となっている。

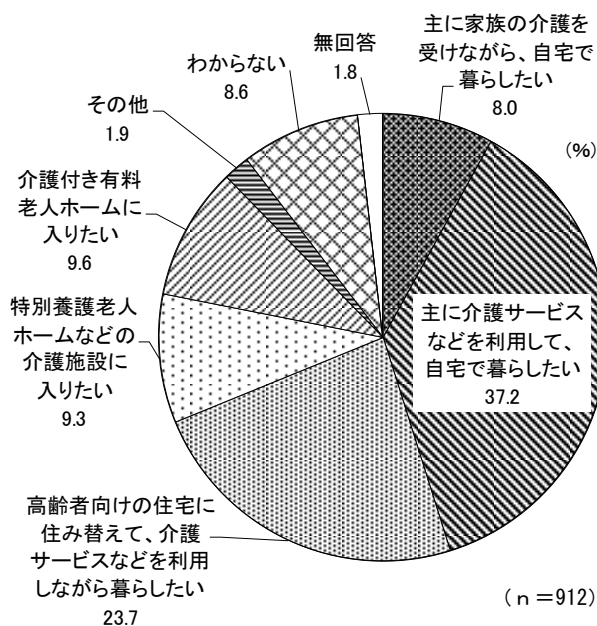


5 高齢者施策

■要介護時における暮らし方

「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(37.2%)が4割近くで最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(23.7%)、「介護付き有料老人ホームに入りたい」(9.6%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」(9.3%)などとなっている。

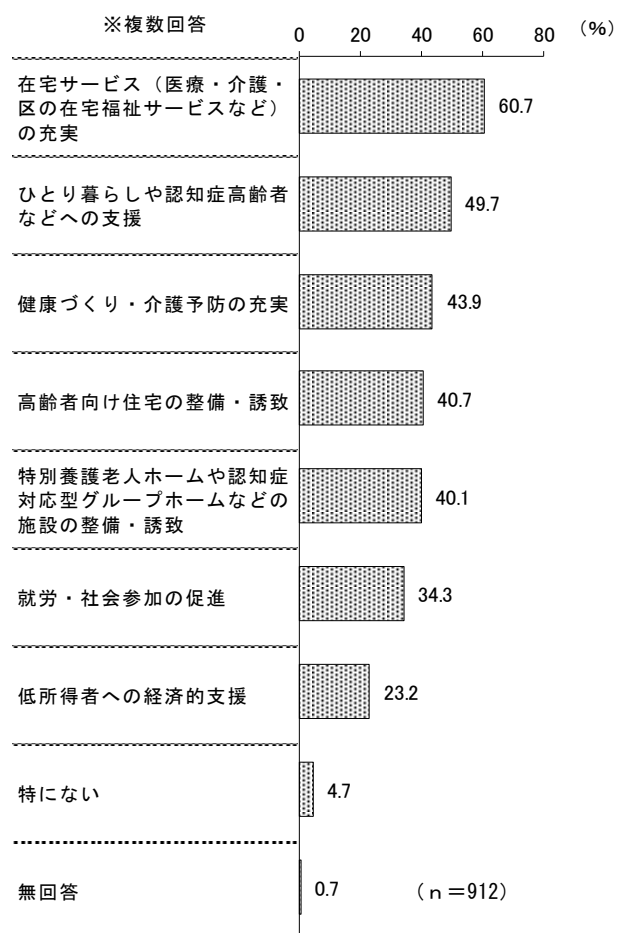
過去の調査結果と比較すると、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は平成17年以降3割台で推移している。



■区に望む高齢者保健福祉サービス

「在宅サービス（医療・介護・区の在宅福祉サービスなど）の充実」(60.7%)が約6割と最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」(49.7%)、「健康づくり・介護予防の充実」(43.9%)、「高齢者向け住宅の整備・誘致」(40.7%)、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」(40.1%)などとなっている。

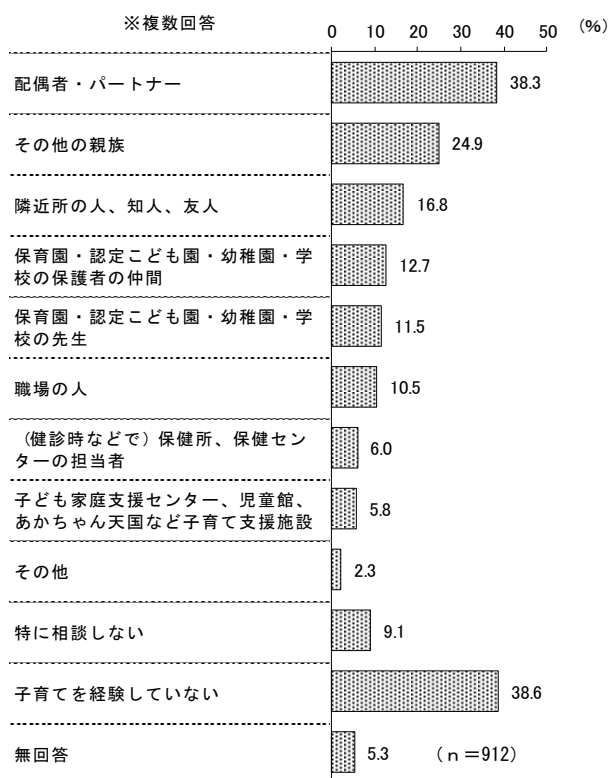
昨年の調査結果と比較すると、「就労・社会参加の促進」は6.5ポイント増加している。



6 子育て支援

■子育てに関する悩みの相談

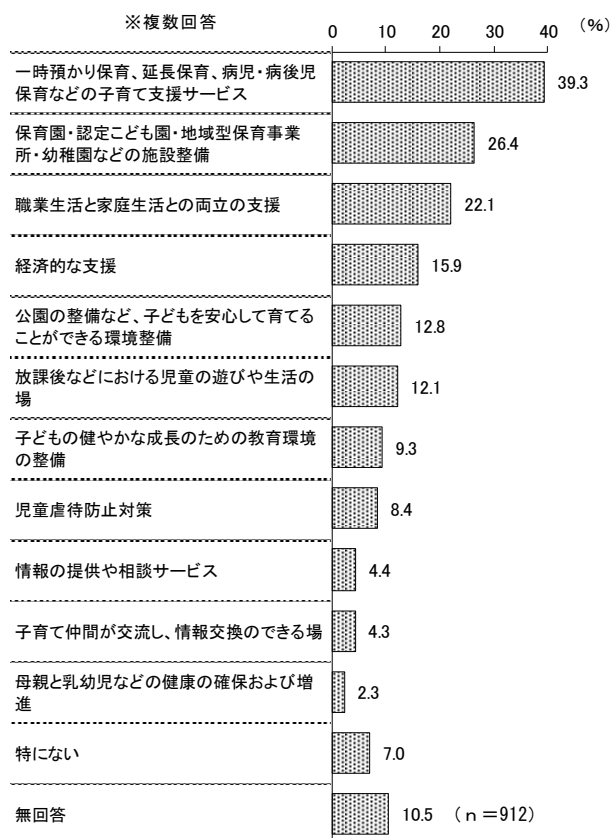
「配偶者・パートナー」(38.3%)が4割近くと最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(24.9%)、「隣近所の人、知人、友人」(16.8%)、「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」(12.7%)などとなっている。



■重要と考える子育て支援策

「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(39.3%)が約4割で最も高くなっている。次いで、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(26.4%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(22.1%)、「経済的な支援」(15.9%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(12.8%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「職業生活と家庭生活との両立の支援」は2.7ポイント増加している。

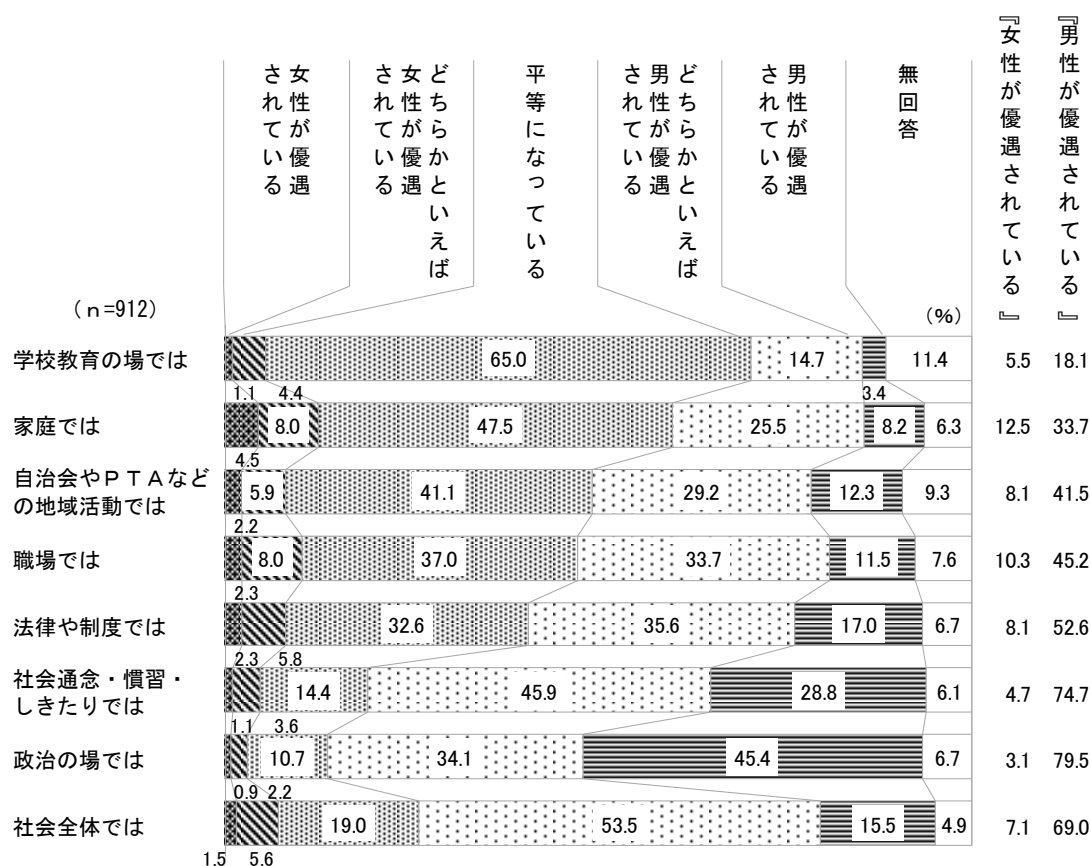


7 男女共同参画社会

■男女の地位の平等感

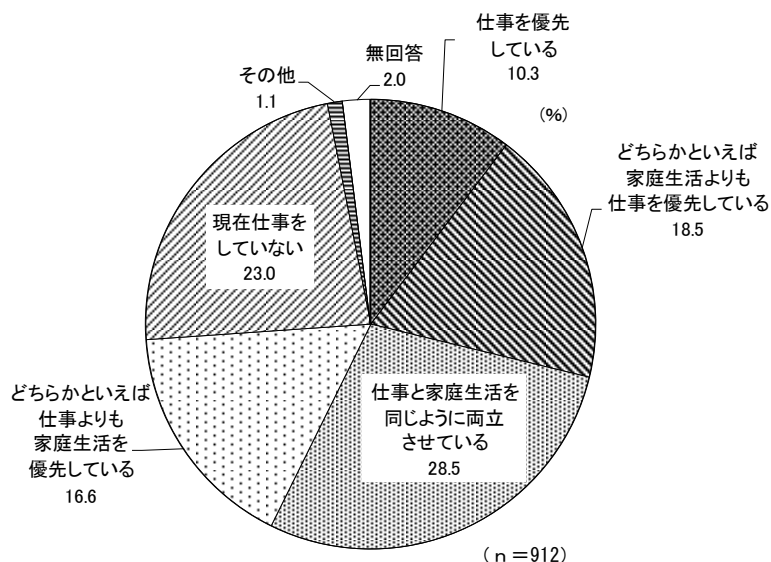
「平等になっている」と感じるのは、“学校教育の場では”（65.0%）が6割台半ばで最も高く、次いで“家庭では”（47.5%）が5割近くとなっている。

「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』と感じるのは、“政治の場では”（79.5%）で8割と最も高く、次いで“社会通念・慣習・しきたりでは”（74.7%）で7割台半ばとなっている。



■ワーク・ライフ・バランスの現在の状況

「仕事と家庭生活を同じように両立させている」（28.5%）が3割近くと最も高くなっている。次いで、「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」（18.5%）、「どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先している」（16.6%）などとなっている。また、「現在仕事をしていない」（23.0%）は2割を超えている。

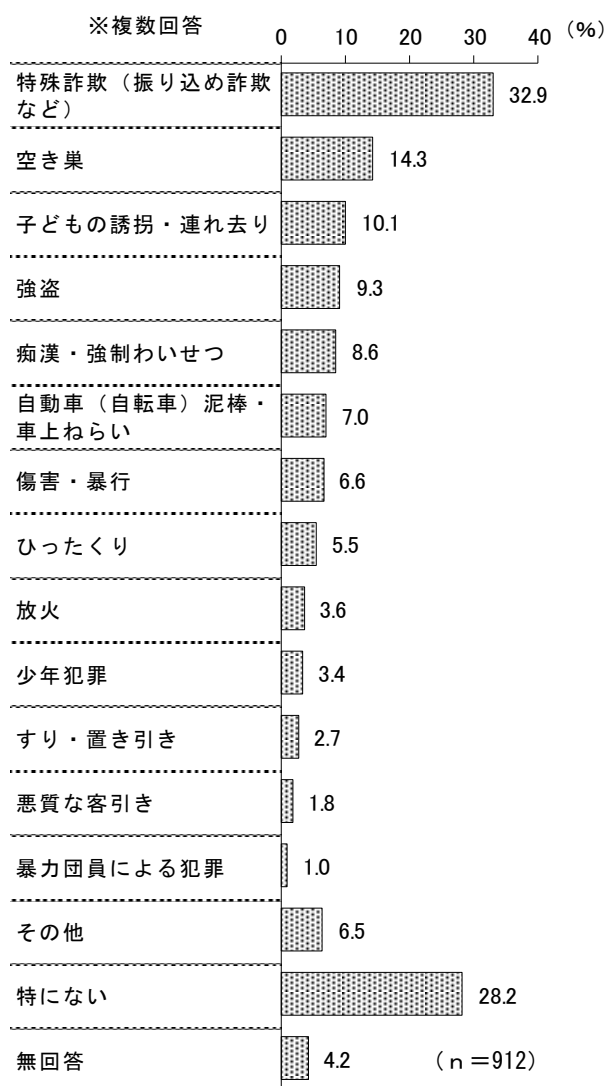


8 防犯対策

■不安に感じる犯罪

「特殊詐欺（振り込め詐欺など）」（32.9%）が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「空き巣」（14.3%）、「子どもの誘拐・連れ去り」（10.1%）、「強盗」（9.3%）、「痴漢・強制わいせつ」（8.6%）などとなっている。一方、「特にない」（28.2%）は3割近くとなっている。

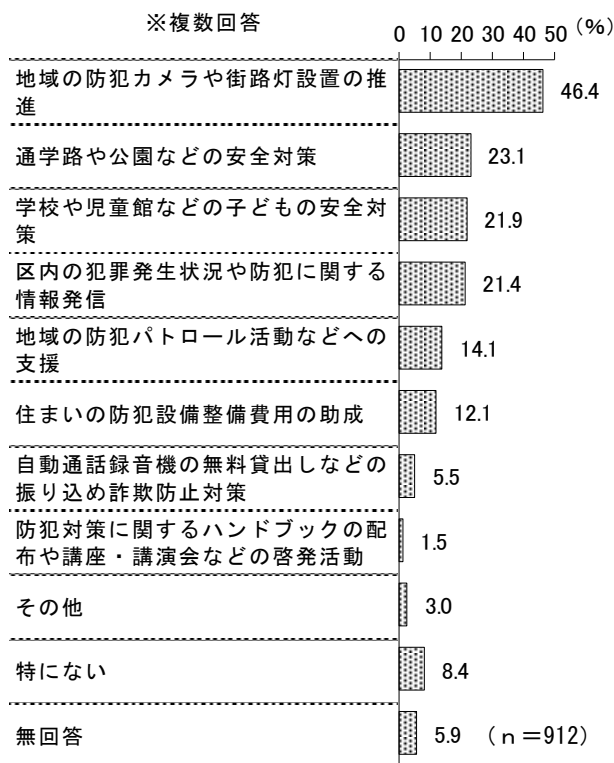
昨年の調査結果と比較すると、「強盗」は5.2ポイント、「空き巣」は3.4ポイント、「自動車（自転車）泥棒・車上ねらい」は2.9ポイント減少している。



■区に特に力を入れてほしい施策

「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」（46.4%）が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「通学路や公園などの安全対策」（23.1%）、「学校や児童館などの子どもの安全対策」（21.9%）、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」（21.4%）、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」（14.1%）などとなっている。

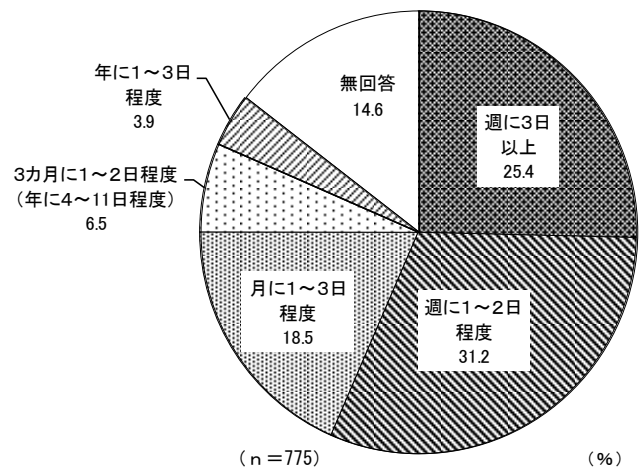
昨年の調査結果と比較すると、「学校や児童館などの子どもの安全対策」は1.7ポイント、「通学路や公園などの安全対策」は1.6ポイント、それぞれ増加している。



9 スポーツ

■過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

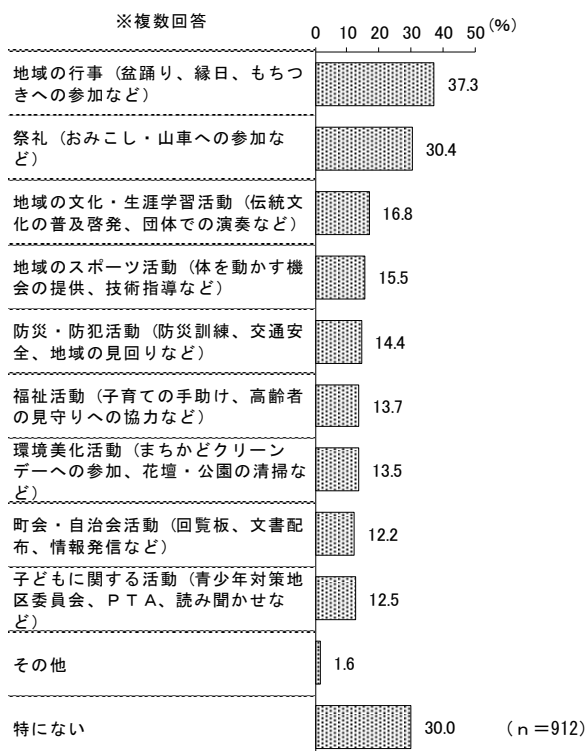
過去1年間にいずれかのスポーツや運動をしたことがあると回答した方のスポーツや運動の頻度は、「週に1～2日程度」(31.2%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「週に3日以上」(25.4%)、「月に1～3日程度」(18.5%)、「3カ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(6.5%)などとなっている。



10 地域のコミュニティ活動

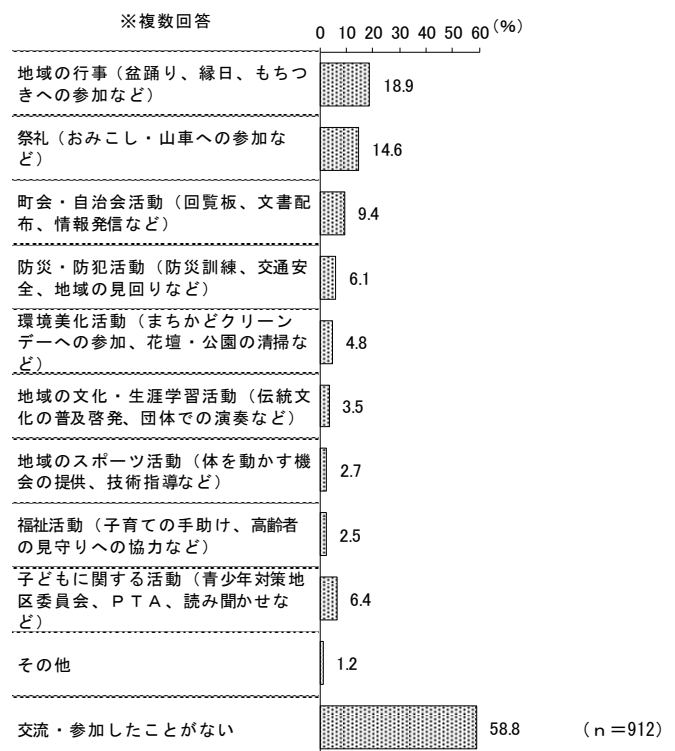
■地域の方と交流を持ちたいと思う活動

「地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)」(37.3%)が4割近くと最も高くなっている。次いで、「祭礼(おみこし・山車への参加など)」(30.4%)、「地域の文化・生涯学習活動(伝統文化の普及啓発、団体での演奏など)」(16.8%)などとなっている。



■すでに交流・参加している活動

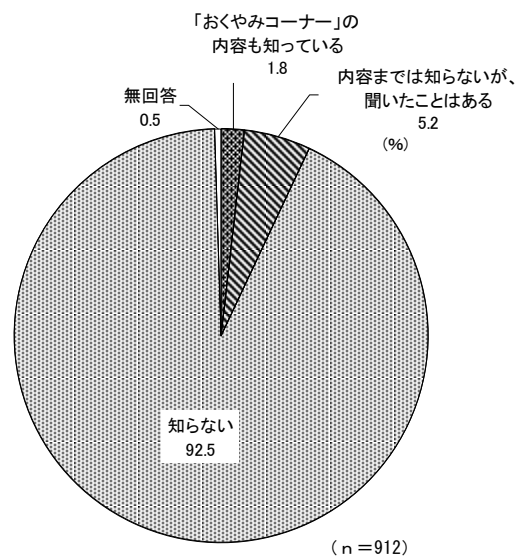
「地域の行事(盆踊り、縁日、もちつきへの参加など)」(18.9%)が2割近くと最も高くなっている。次いで、「祭礼(おみこし・山車への参加など)」(14.6%)、「町会・自治会活動(回覧板、文書配布、情報発信など)」(9.4%)などとなっている。



11 おくやみコーナー

■おくやみコーナーの認知度

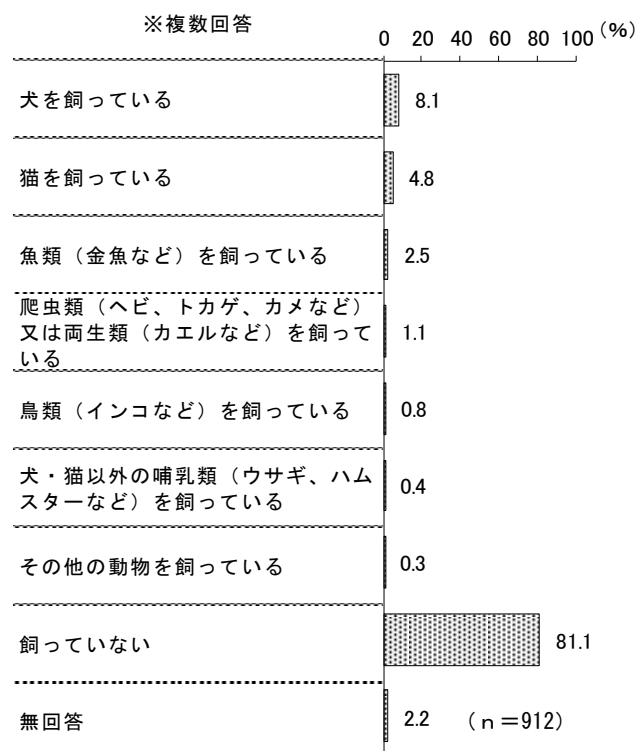
「知らない」(92.5%)が9割を超えて最も高くなっている。



12 動物の飼養

■動物の飼養状況

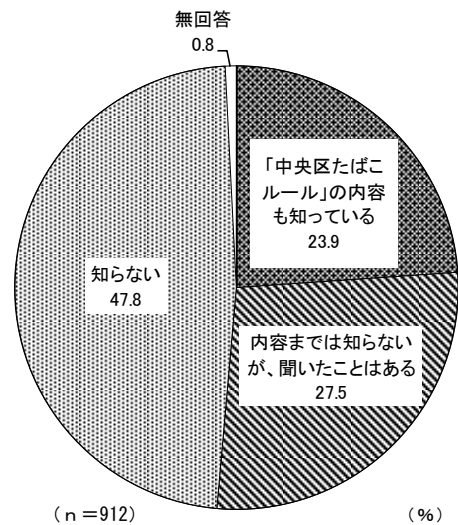
「犬を飼っている」が8.1%で最も高くなっている。次いで、「猫を飼っている」が4.8%、「魚類（金魚など）を飼っている」が2.5%となっている。



13 受動喫煙防止対策

■「中央区たばこルール」の認知度

「『中央区たばこルール』の内容も知っている」(23.9%)が2割を超えている。「内容までは知らないが、聞いたことはある」(27.5%)は3割近く、「知らない」(47.8%)は5割近くとなっている。

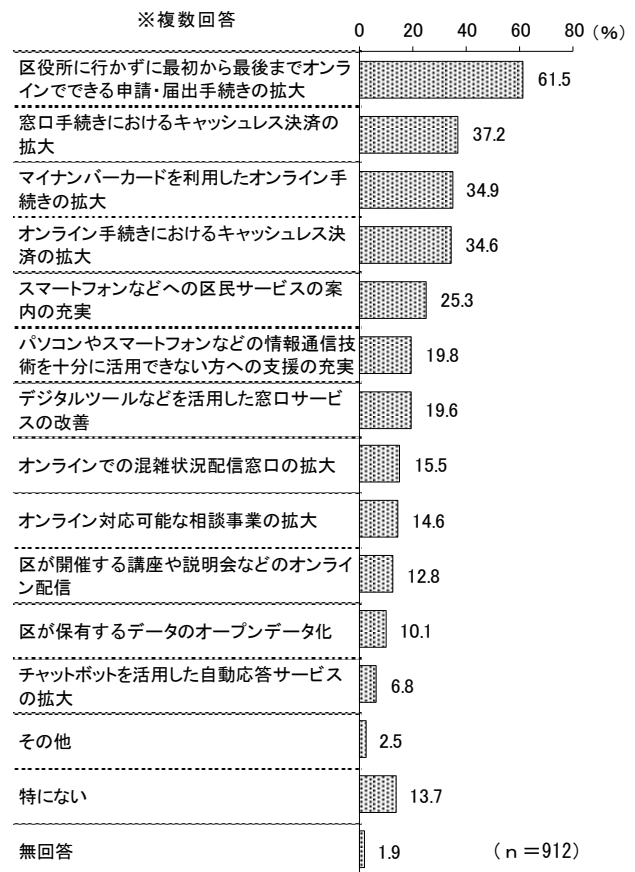


14 デジタル技術を活用した区民サービス

■区に進めてほしいデジタル技術を活用した区民サービス

「区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる申請・届出手続きの拡大」(61.5%)が6割を超えて最も高くなっている。次いで、「窓口手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大」(37.2%)、「マイナンバーカードを利用したオンライン手続きの拡大」(34.9%)、「オンライン手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大」(34.6%)、「スマートフォンなどへの区民サービスの案内の充実」(25.3%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「オンライン対応可能な相談事業の拡大」は3.5ポイント増加している。

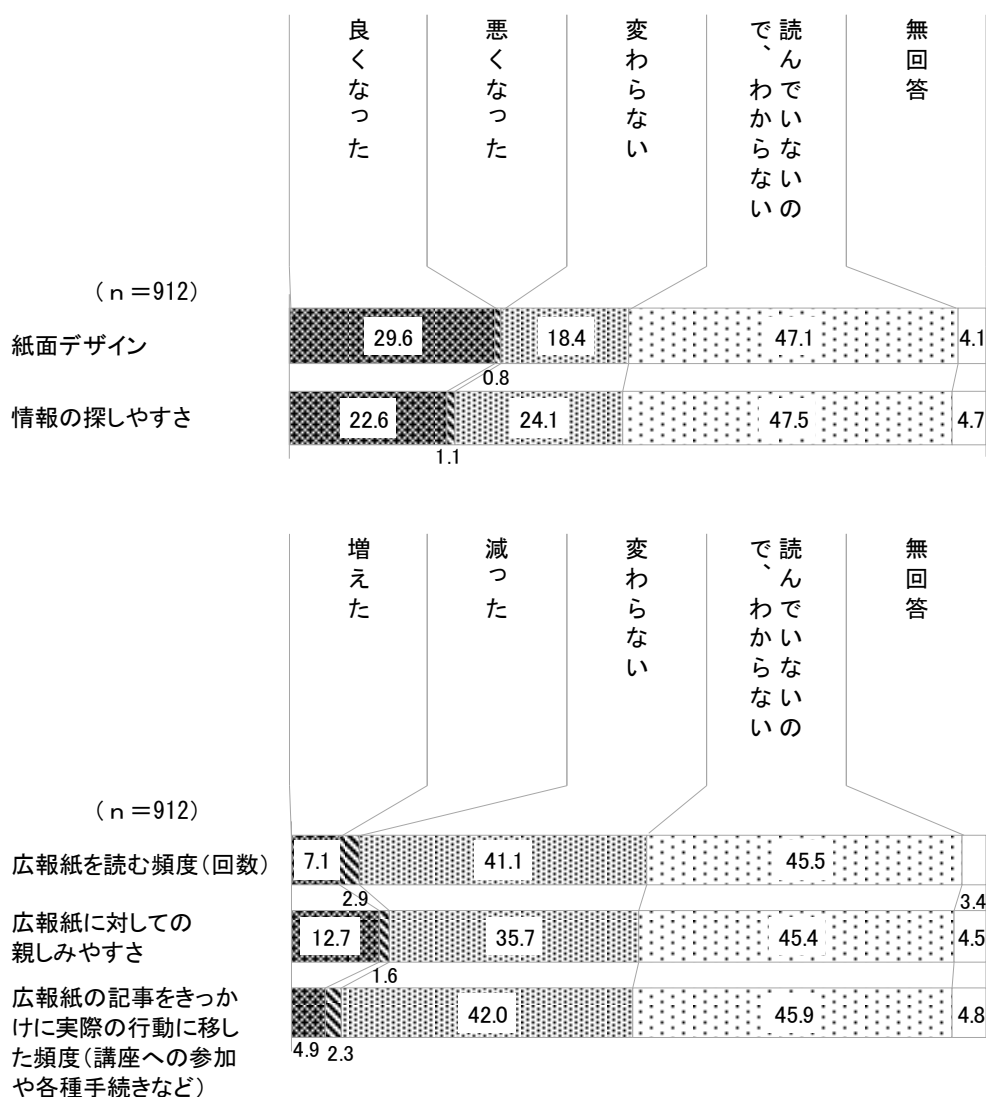


15 広報

■リニューアル後の広報紙について感じたこと

紙面デザインは「良くなった」(29.6%)が3割となっている。情報の探しやすさは「変わらない」(24.1%)が2割台半ばとなっている。

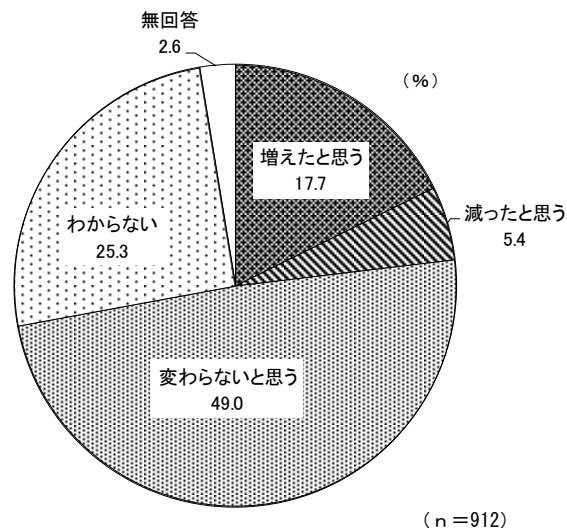
広報紙を読む頻度(回数)、広報紙に対しての親しみやすさ、広報紙の記事をきっかけに実際の行動に移した頻度(講座への参加や各種手続きなど)は、いずれも「変わらない」が最も高くなっている。



16 環境

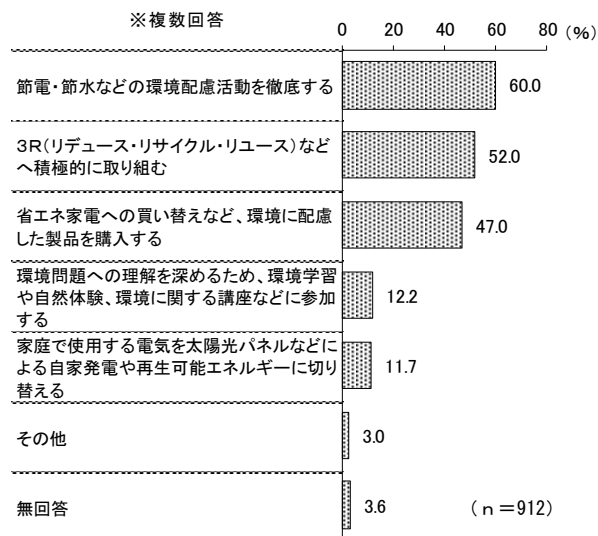
■区内のみどり

「増えたと思う」(17.7%)が2割近く、「減ったと思う」(5.4%)が1割未満、「変わらないと思う」(49.0%)が約5割となっている。



■今後の家庭での取り組み

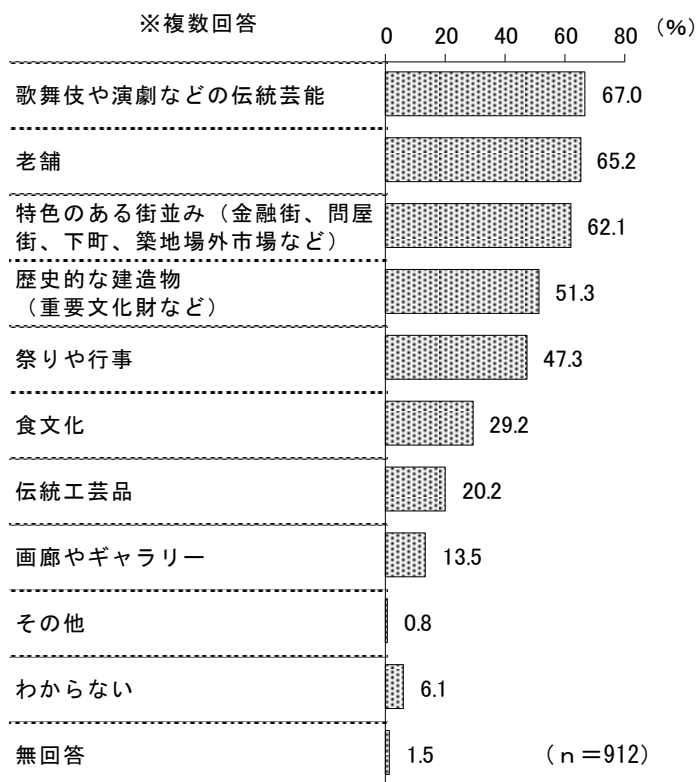
「節電・節水などの環境配慮活動を徹底する」(60.0%)が6割で最も高くなっている。次いで、「3R(リデュース・リサイクル・リユース)などへ積極的に取り組む」(52.0%)、「省エネ家電への買い替えなど、環境に配慮した製品を購入する」(47.0%)などとなっている。



17 伝統と文化

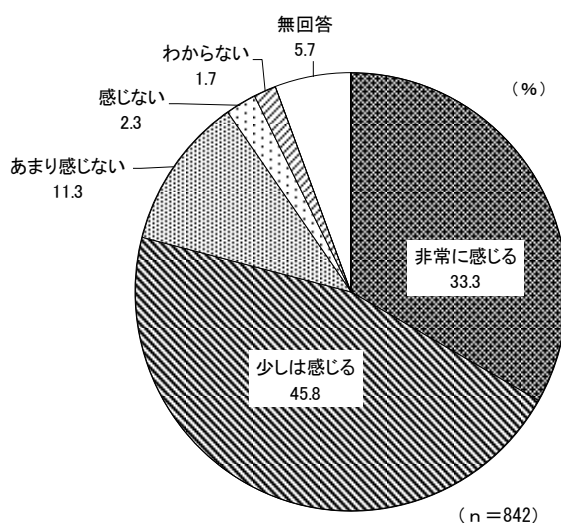
■中央区ならではの伝統と文化

「歌舞伎や演劇などの伝統芸能」(67.0%)が7割近くと最も高くなっている。次いで、「老舗」(65.2%)、「特色のある街並み(金融街、問屋街、下町、築地場外市場など)」(62.1%)、「歴史的な建造物(重要文化財など)」(51.3%)、「祭りや行事」(47.3%)などとなっている。



■伝統と文化を身近に感じているか

「非常に感じる」(33.3%)と「少しは感じる」(45.8%)を合わせた『感じる』(79.1%)は約8割となっている。一方、「あまり感じない」(11.3%)と「感じない」(2.3%)を合わせた『感じない』(13.6%)は1割を超えている。



18 施策の要望・評価

■区の施策の満足度

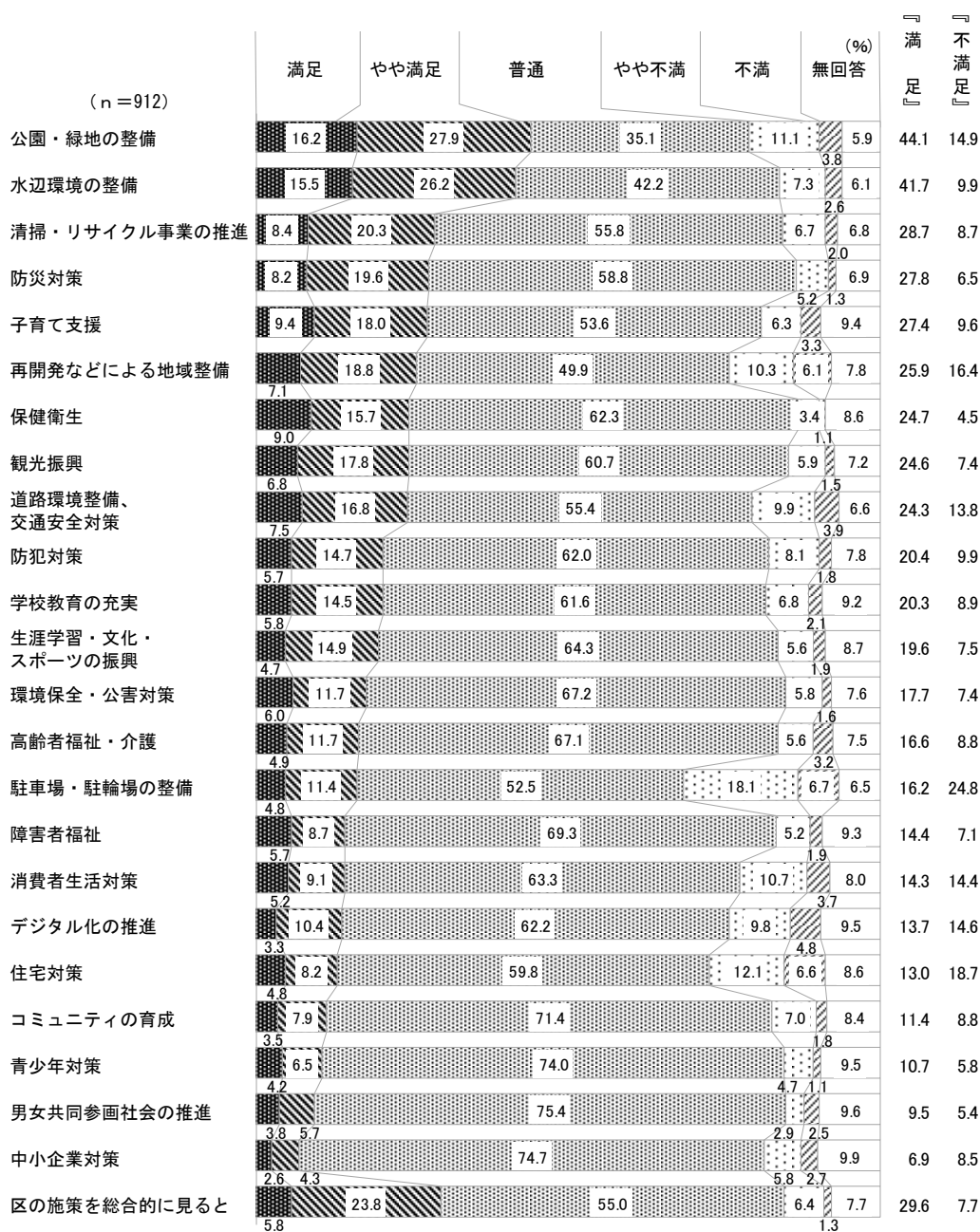
「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

『満足』

- ①公園・緑地の整備 (44.1%)
- ②水辺環境の整備 (41.7%)
- ③清掃・リサイクル事業の推進 (28.7%)
- ④防災対策 (27.8%)
- ⑤子育て支援 (27.4%)

『不満足』

- ①駐車場・駐輪場の整備 (24.8%)
- ②住宅対策 (18.7%)
- ③再開発などによる地域整備 (16.4%)
- ④公園・緑地の整備 (14.9%)
- ⑤デジタル化の推進 (14.6%)



■区の施策の重要度

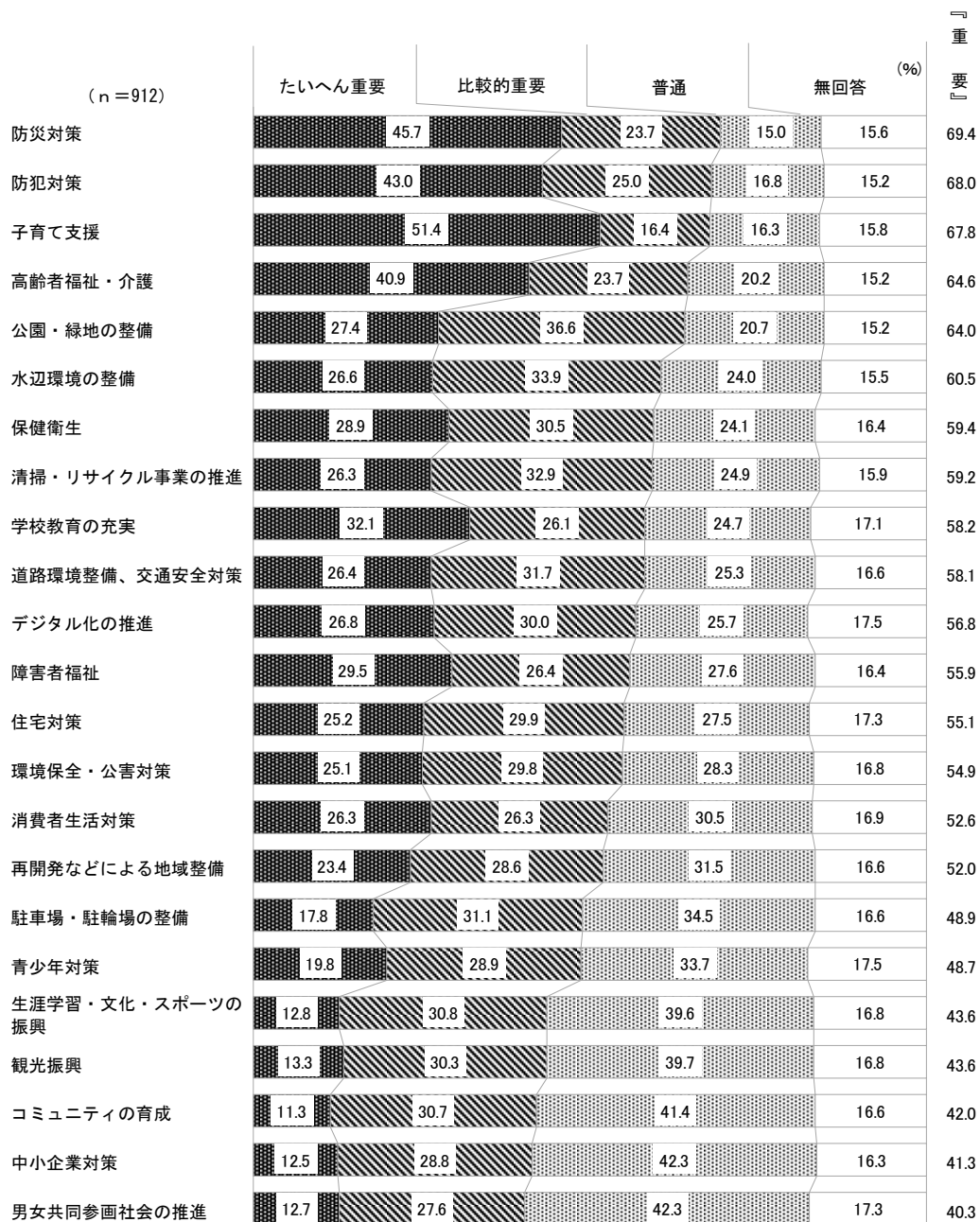
「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

上 位

①防災対策	(69.4%)
②防犯対策	(68.0%)
③子育て支援	(67.8%)
④高齢者福祉・介護	(64.6%)
⑤公園・緑地の整備	(64.0%)

下 位

①男女共同参画社会の推進	(40.3%)
②中小企業対策	(41.3%)
③コミュニティの育成	(42.0%)
④生涯学習・文化・スポーツの振興	(43.6%)
⑤観光振興	(43.6%)



次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\text{重要度評価点} = (\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{ 点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{ 点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{ 点}) \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数})$$

重要度評価点

満足度評価点

高

低

低

高

子育て支援

防災対策

防犯対策

高齢者福祉・介護

学校教育の充実

障害者福祉

環境保全・公害対策

再開発などによる地域整備

清掃・リサイクル事業の推進

観光振興

生涯学習・文化・スポーツの振興

男女共同参画社会の推進

道路環境整備、交通安全対策

保健衛生

公園・緑地の整備

水辺環境の整備

デジタル化の推進

住宅対策

消費者生活対策

青少年対策

コミュニティの育成

駐車場・駐輪場の整備

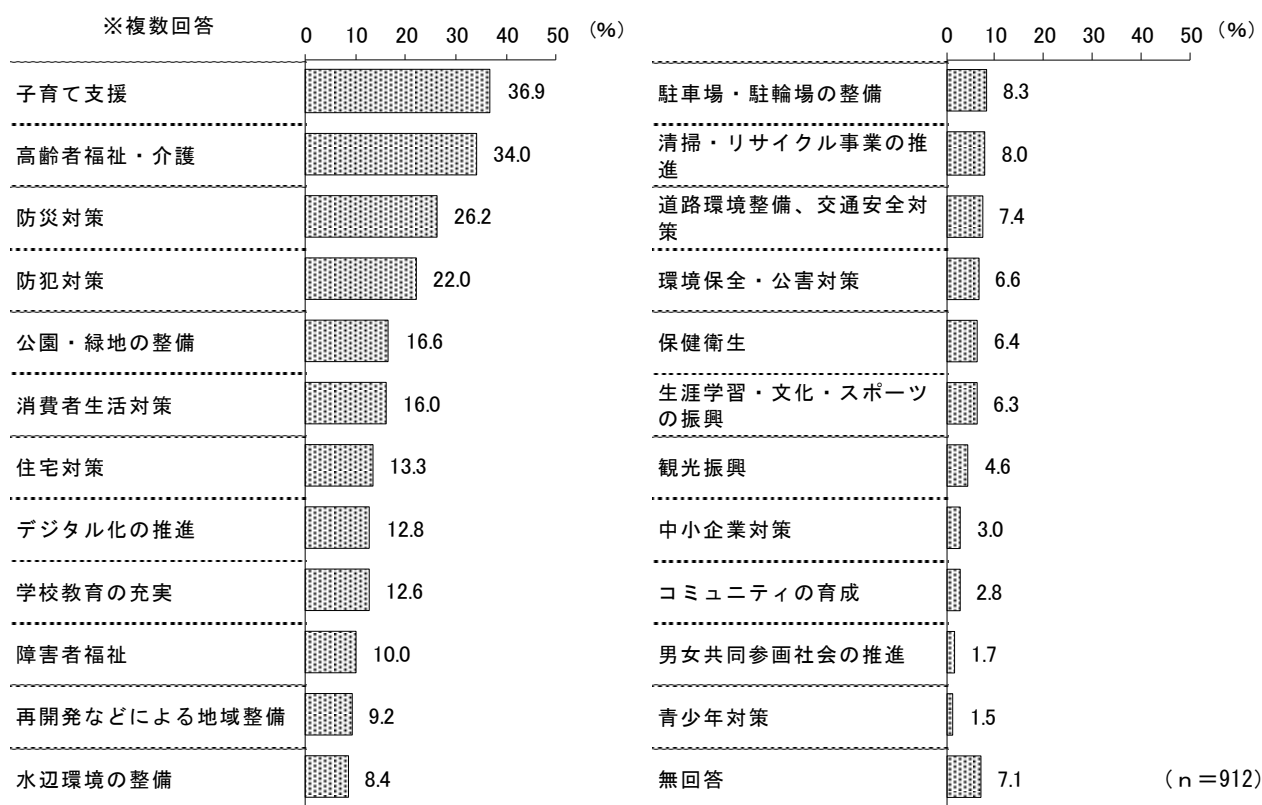
中小企業対策

駅前・駅前周辺の整備

■区の施策への要望

「子育て支援」(36.9%)が4割近くと最も高くなっている。次いで、「高齢者福祉・介護」(34.0%)、「防災対策」(26.2%)、「防犯対策」(22.0%)、「公園・緑地の整備」(16.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「防犯対策」は5.1ポイント増加している。一方、「デジタル化の推進」は5.3ポイント減少している。



第55回 中央区政世論調査

令和7年9月

刊行物登録番号
7-041



調査報告書（本編）と概要版は
中央区ホームページで
ご覧になれます。

発行 中央区企画部広報課
中央区築地一丁目1番1号
03（3546）5222（直通）

実施 株式会社ケー・デー・シー
港区虎ノ門四丁目2番12号
03（5733）5111